

書きそんじハガキ・キャンペーン意見交換会 参加者アンケート（開催後の感想、意見）

開催日：2025 年 10 月 10 日（金）14：30～16：30

参加者数：14 ユ協 15 名

（石狩ユ協、青森県ユ協、水沢ユ協、盛岡ユ協、秋田ユ協、目黒ユ協、杉並ユ協、新宿ユ協、岐阜県ユ協、名古屋ユ協、長浜ユ協、姫路ユ協、丸亀ユ協、沖縄県ユ協）

回答方法：Forms より（選択・記述方式）

アンケート回答数：9 ユ協

（石狩ユ協、青森県ユ協、盛岡ユ協、秋田ユ協、目黒ユ協、杉並ユ協、岐阜県ユ協、名古屋ユ協、姫路ユ協）
ご協力ありがとうございました。

■ 意見交換会開催の目的

- ① 長年キャンペーンにご参加いただいているユ協の皆様と日ユ協連事務局が、意見交換を通じて現状や問題点等を共有し、今後のキャンペーンの方向性や運営方法の改善を検討する。
- ② 回収活動に取り組んでいるユ協の皆様同士が、活動の現状や工夫点、成功事例などを共有し、それぞれの活動の発展につなげる。
- ③ 今回初めてご担当いただく方が、経験が長いユ協の皆様や日ユ協連担当職員に直接質問や相談を行うことにより、キャンペーンの円滑な運営につなげる。

■ 当日のアジェンダ

1. 世界寺子屋運動の現状共有
2. 書きそんじハガキ・キャンペーン 2024/5 収益とアンケート結果の報告、主な質問・ご意見への回答
3. 質疑応答
4. 3つのグループに分かれて意見交換
5. 本日のまとめ
6. 初心者向け説明会・質疑応答

■ 3つのグループに分かれておこなった意見交換で出た意見

以下は、オンライン意見交換会における3つのブレイクアウトルームで出された主な意見を統合したまとめです。各協会からの実践例、課題、提案などをテーマ別に整理しています。

回収活動の工夫と成果

- 新しい地区や学校への働きかけにより、眠っていた書きそんじを掘り起こすことができた。
- 独自に算数表を作成し、500円以上の切手を多く振り出せるよう工夫した。郵便局に約30回通い、手数料約14,000円分が節約できた。
- 関係先28か所に絞ってグッズ配布を実施した。
- 学校の生徒会の協力により、地域全体の1/4～1/5の枚数が回収できた。
- ユ協会長・副会長が学校を訪問し、事業説明と協力依頼を行った。
- ユネスコスクールに協力を依頼した。
- 教員とのつながりが校長就任を機に学校単位での協力につながった。

広報・啓発活動の課題と提案

- 「タンス遺産」の例えが現代の子どもには伝わりづらい。
- キャンペーンの名称を見直してはどうか。
- 1996年に作成された学校向けキャンペーン説明用冊子のようなものの配布してはどうか。
- 外国籍住民向けの日本語教室など、新たな支援ニーズへの対応も検討してはどうか。
- 子どもが家庭で話題にし、祖父母などから協力を得るケースが多い。
- 地域のまちづくりセンターやコミュニティセンターにポスター・回収ボックスを設置した。
- メディアや地域広報誌を活用した告知を行っている。
- 公職選挙法の影響で知事等に直接協力を賜ることが困難になっている。
- 小・中学生には金券の扱いが難しい印象があり、子ども向けチラシにわかりやすく記載してはどうか。
- ユネスコや日ユ協連の活動内容が十分に知られていないため、広報の重要性を再認識した。

協力団体・企業との連携

- ライオンズクラブなどの協力団体に対し、定期的・継続的な呼びかけを実施した。
- SDGs パスポートの導入により企業への働きかけが可能になった。
- 銀行や企業の協力を得て広報効果を高めている。
- 協力してくれた学校の生徒会等へのインセンティブ（還元）を検討してはどうか。

その他の話題・提案

- 外貨の両替に関する課題について。
- 現在の識字率について。
- クラウドファンディングの活用について。
- 募金者や地域ユネスコ協会を対象としたスタディツアー（スタツア）の再開について。
- 書きそんじの現金化や銘板の扱いについての意見交換。

■ 開催の成果と反省点（日ユ協連）

これまで各協会は、それぞれ孤軍奮闘しながら活動をしてきましたが、意見交換の場はほとんど設けられておらず、課題や工夫を共有する機会はありませんでした。特に、今日のデジタル社会においては、はがきや切手の回収数の減少が著しく、多くの協会が同様の悩みを抱えていることが、今回の意見交換で互いに確認でき、共有・共感できる貴重な機会となったと考えます。

そのような中でも、各地の協会が創意工夫を凝らしながら活動を継続している様子が紹介され、参加者からは「参考になった」「励みになった」といった声が聞かれました。たとえば、地域の学校や企業との連携、独自の広報手法、回収効率を高める工夫など、実践的なアイデアが数多く共有されました。

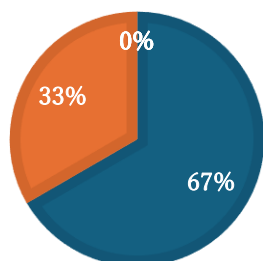
また、キャンペーンの名称や伝え方、広報のあり方についても活発な意見が交わされ、今後の改善に向けたヒントが得られました。ユネスコや日ユ協連の活動そのものをより広く知ってもらう必要性も改めて認識されました。

今回の意見交換会は、単なる情報共有にとどまらず、協会同士がつながり、互いに支え合える関係づくりの第一歩となったと考えます。今後も継続的にこうした場を設け、全国のユネスコ協会が連携しながら活動を進められるよう、取り組みをさらに深めてまいりたいと思います。

□ 意見交換会に関する事後アンケートの回答内容

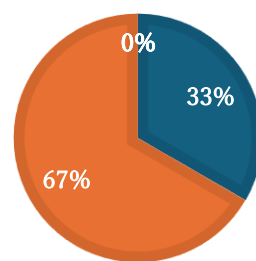
内容は理解しやすかったか？

- 非常に思う ■ 思う
- どちらとも言えない ■ あまりそう思わない
- 全くそう思わない



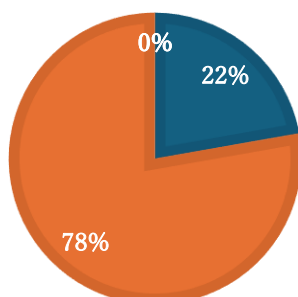
全体的な満足度

- 非常に満足 ■ 満足
- どちらとも言えない ■ やや不満
- 不満



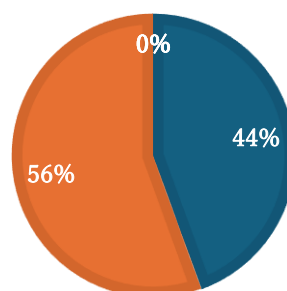
事前に期待していた内容に対して、どの程度満足出来たか？

- 期待以上だった ■ ほぼ期待通りだった
- どちらとも言えない ■ 期待に届かなかった



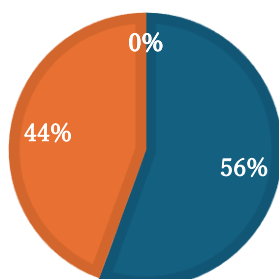
「世界寺子屋運動の現状共有」は有益だったか？

- 非常に有益 ■ 有益
- 普通 ■ あまり有益ではない
- 不要だと感じた



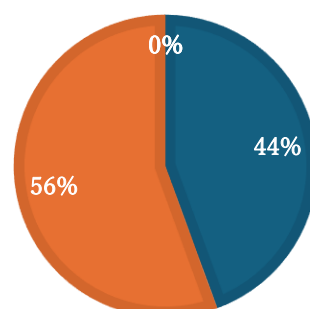
「アンケート結果の報告および主な質問・意見への回答」は参考になったか？

- とても参考になった
- 参考になった
- どちらとも言えない
- あまり参考にならなかった



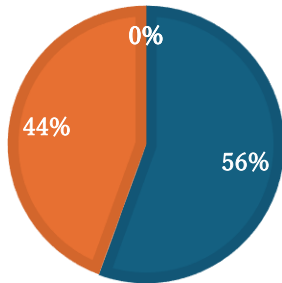
「地域ユ協同士の意見交換」では他ユ協の取り組みから学びがあったか？

- 多くあった ■ あった
- あまりなかった ■ まったくなかった



今回の内容は、今後のキャンペーン
運営に役立ちそうですか？

■大いに役立つ ■役立つ
■どちらとも言えない ■あまり役立たない



【今後、意見交換会で取り上げてほしいテーマ】

- 寺子屋運動の周知・広報の方法。寺子屋事業の収入を増やすための検討。
- どういう方法・呼びかけで、またどの対象を重点に協力をお願いすれば良いか。

【運営・進行に関して改善してほしい点】

- 仕事をしている人もいるので、土日開催が良いと思う。
- ブレイクアウトルームに分かれた後、別ルームの協議結果の報告がやや不鮮明に感じた。

【その他ご意見・ご感想】

- 30年以上活動に取り組んでいるが、実際に他ユ協との意見交換の場はほとんどなかった。今回はとても参考になり、励みにもなった。
- 日本社会の影響か（学校レベルでも）世界に向けた考えの空気感が変わってきたように感じる。寺子屋運動が平和につながる教育であることを広める努力が必要だと思う。小中学生向けに国際理解教育を兼ねる活動をもっと模索して欲しい。
- （書きそんじハガキ・キャンペーンの名称変更の検討について）他団体も“書き損じはがき”という言葉を使用しているが、全国的に他の言葉に変える動きはあるのか。
- 担当の海外事業部だけでなく、他部署の組織部の参加もあり、会の開催への熱意を感じた。
- オンライン会議を活用できる時代になったので、日ユや他ユ協と簡単に顔合わせが出来るのは良いことだと思う。書きそんじハガキC Pだけでなく、他の事業でももっと開催してほしい。